

2023年度 環境経営レポート

2023年7月～2024年6月



株式会社ナム

発行
更新

2024年10月1日

□ごあいさつ

私達は日頃から地球環境に優しく安全で高品質、高精度なメカトロニクス製品をニーズにおこたえして提供しています。

そして私達は一段と飛躍する技術、頭脳集団である為に社員一同新技術の開発、向上、蓄積、伝承に励んでいます。

株式会社ナム

代表取締役 尾形 文弘

株式会社ナム 環境方針

私達は、いつも愛と誠の心をもって、環境にやさしい(地球温暖化ゼロ)企業を目指し日々の営業、設計等の事業において積極的に二酸化炭素(CO₂)排出の削減に最大の努力を傾注します。そして永遠の大自然界の均衡と調和を祈念して環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③水資源の節水
- ④事務用品のグリーン購入
- ⑤環境に配慮した設備及び制御盤の製作

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、全従業員に周知し、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日：2009年 5月20日

改定日：2011年 7月 4日

代表取締役社長

尾形 文弘

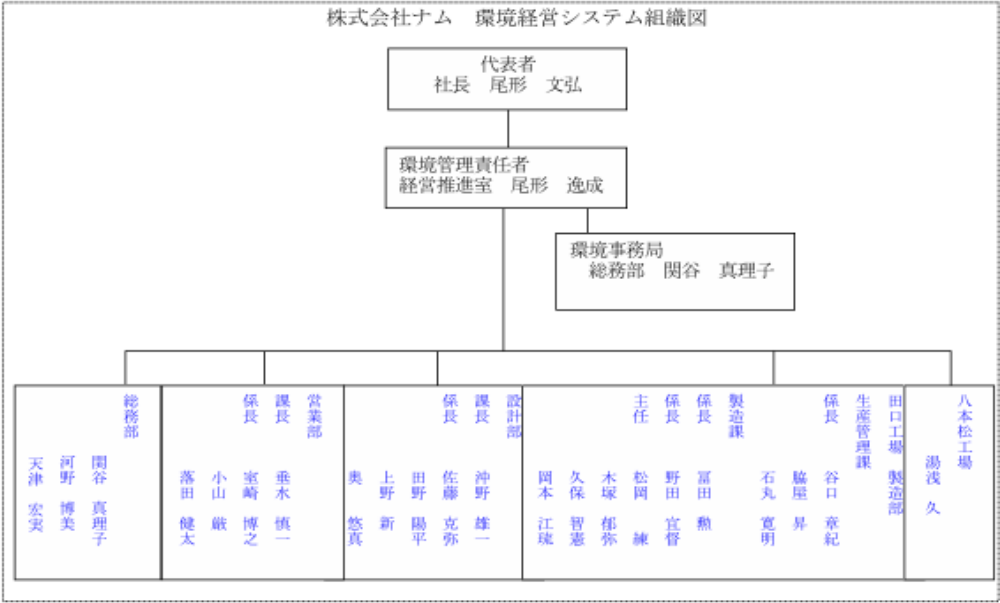
□登録事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
株式会社ナム
代表取締役社長 尾形 文弘
- (2) 所在地
本社: 広島県広島市南区比治山町6番7-1号
田口工場: 広島県東広島市田口研究団地3番1号
八本松工場: 広島県東広島市八本松町原11155-6
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 営業部 尾形 逸成 TEL:082-263-8778 FAX:082-262-4102
担当者 総務部 河野 博美 TEL:082-263-8778 FAX:082-262-4102
- (4) 事業内容(認証・登録の範囲) : 全組織、全活動
制御システムの設計・製作及び設備機器の販売
- (5) 事業の規模
売上高 8億円 (40期; 2023年7月1日～2024年6月30日)

	本社	田口工場	八本松工場
従業員(パート等除)	13名	9名	1名
延べ床面積	250㎡	500㎡	326.4㎡

- (6) 事業年度 7月～6月

- (7) 環境経営システム組織



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの作成 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
環境事務局	・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画書の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
全従業員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□2023年度 年度始めに策定する環境経営目標と当年度実績の判定、および、次年度の環境経営目標

	： 年度始めに策定する当年度環境経営目標と中期環境経営目標
	： 年度終了後の当年度の実績と判定
	： 年度終了後の次年度環境経営目標の見直し

事業年度：7月～翌年6月

年度始めに策定									年度終了後の次年度目標の見直し	
環境目標		単位	2022年度実績 (基準年度)	2023年度			2024年度	2025年度	2023年度実績 (基準年度)	2024年度
				目標	実績	判定	目標	目標		目標
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	78,534 (100%)	77,748 以下 (▲1%)	74,351 (▲5%)	○	76,963 以下 (▲2%)	76,178 以下 (▲3%)	74,351 (100%)	73,607 以下 (▲1%)
1 -1 -1	電気使用量(全社)	kWh	78,232 (100%)	77,450 以下 (▲1%)	60,933 (▲22%)	○	76,667 以下 (▲2%)	75,885 以下 (▲3%)	60,933 (100%)	60,324 以下 (▲1%)
	-2 電気使用量(本社)	kWh	11,683 (100%)	11,566 以下 (▲1%)	11,264 (▲4%)	○	11,449 以下 (▲2%)	11,333 以下 (▲3%)	11,264 (100%)	11,151 以下 (▲1%)
	-3 電気使用量(工場)	kWh	66,549 (100%)	65,884 以下 (▲1%)	49,669 (▲25%)	○	65,218 以下 (▲2%)	64,553 以下 (▲3%)	49,669 (100%)	49,172 以下 (▲1%)
1 -2 -1	ガソリン使用量(全社)	ℓ	20,618 (100%)	20,412 以下 (▲1%)	16,658 (▲19%)	○	20,206 以下 (▲2%)	19,999 以下 (▲3%)	16,658 (100%)	16,491 以下 (▲1%)
	-2 ガソリン使用量(本社)	ℓ	12,122 (100%)	12,001 以下 (▲1%)	8,465 (▲30%)	○	11,880 以下 (▲2%)	11,758 以下 (▲3%)	8,465 (100%)	8,380 以下 (▲1%)
	-3 ガソリン使用量(工場)	ℓ	8,496 (100%)	8,411 以下 (▲1%)	8,193 (▲4%)	○	8,326 以下 (▲2%)	8,241 以下 (▲3%)	8,193 (100%)	8,111 以下 (▲1%)
2	自社発生産業廃棄物 (有価物：金属くず)	kg	4,333 (100%)	4,290 以下 (▲1%)	3,540 (▲18%)	○	4,246 以下 (▲2%)	4,203 以下 (▲3%)	3,540 (100%)	3,505 以下 (▲1%)
3	環境に配慮した制御盤等 の製作	台	415 (100%)	411 以下 (▲1%)	(▲100%)		2021年実績により策定 (-)		0 (100%)	0 以下 (▲1%)
4	総排水量 (使用水量)	m ³	244 (100%)	242 以下 (▲1%)	208 (▲15%)	○	239 以下 (▲2%)	237 以下 (▲3%)	367 (100%)	363 以下 (▲1%)

電力と燃料の使用量削減に注力し、「グリーン電力(CO2排出も小さい)を購入」を推進し、
「燃料から電化」「自らグリーン電力を作り、使用」も視野に入れているため、
小売電気事業者の電力購入年度(又は公表直近の)CO2調整後排出係数を用いた。
電力のCO2調整後排出係数は、中国電力の2022年度の調整後排出係数0.551kg-CO2/kWhを採用。
化学物質は、当社において使用がないため、化学物質使用量削減の目標は掲げません。

□環境活動の取り組み計画と評価、次年度の取組み内容

取り組み計画	実施状況	評価（次年度の取組み内容）
二酸化炭素総排出量の削減 ：達成 ・CO ₂ 排出量が小さい電力を購入	○	本社、田口工場で目標達成。 八本松工場は目標未達。 2023年夏 田口工場天井に遮熱シートを取り付け、エアコンの効きが良くなったことにより目標達成。 今後の取組み：電力使用量も増えているため削減することに取組む。
電力量の削減 ：達成		本社、田口工場で目標達成。
・省エネ目標説明	○	八本松工場は目標未達。
・クールビズ・ウォームビズ運動	○	2023年夏 田口工場天井に遮熱シートを取り付け、エアコンの効きが良くなったことにより目標達成。
・冷房28℃ 暖房20℃ → 室温に合わせた適温調整	△	
・不要照明の消灯	○	
		今後も体感と室温に合わせた細やかな調整を行っていく。
自動車のガソリン削減 ：達成		生産数減少に伴い、物品の運搬が減ったことにより目標達成。
・エコドライブステッカー貼付け	×	
・アイドリングストップ	○	
・急加速/急停車の防止	○	
・冷暖房の控えめ使用	△	
		今後の取組み：新規に社用車を購入する場合にはハイブリット車を積極的に購入する。 アイドリングストップの実施を強化する。
自社発生産業廃棄物の削減（工場） ：達成		制御盤の製作数増加に伴い、組立時に発生する電線の廃棄量が増加。設計変更に伴う板金の再製作もあり、不要になった板金物の廃棄が多かった。
・不要な廃棄電線類の削減	○	
	○	
	○	
		今後の取組み：電線使用量の標準化を行うことで、無駄な電線廃棄を削減する。
環境に配慮した制御盤等の製作 ：達成	○	制御盤自体の受注数が多くなり省エネアイテムの使用数も増えたことで目標達成。 今後の取組み：制御盤への省エネアイテム使用は定着化したので、別の目標にする。客先での省力化、省人化に繋がる案件を目標とする。
水使用量の削減 ：達成	○ ×	制御盤の製作数減少に伴い、残業、休日出勤が減ったことで目標達成。 今後の取組み：ステッカー等で節水を呼びかけ、社員皆で節水を継続する。
総括 ・環境方針は引き続き徹底させる。 ・部内別会議において、エコアクション21の情報を交換する。		

□環境関連法規制等の順守状況

適用される主な環境関連法規制は、

○廃棄物処理法・○浄化槽法・○騒音規制法・○大気汚染防止法・○フロン排出抑制法です。

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

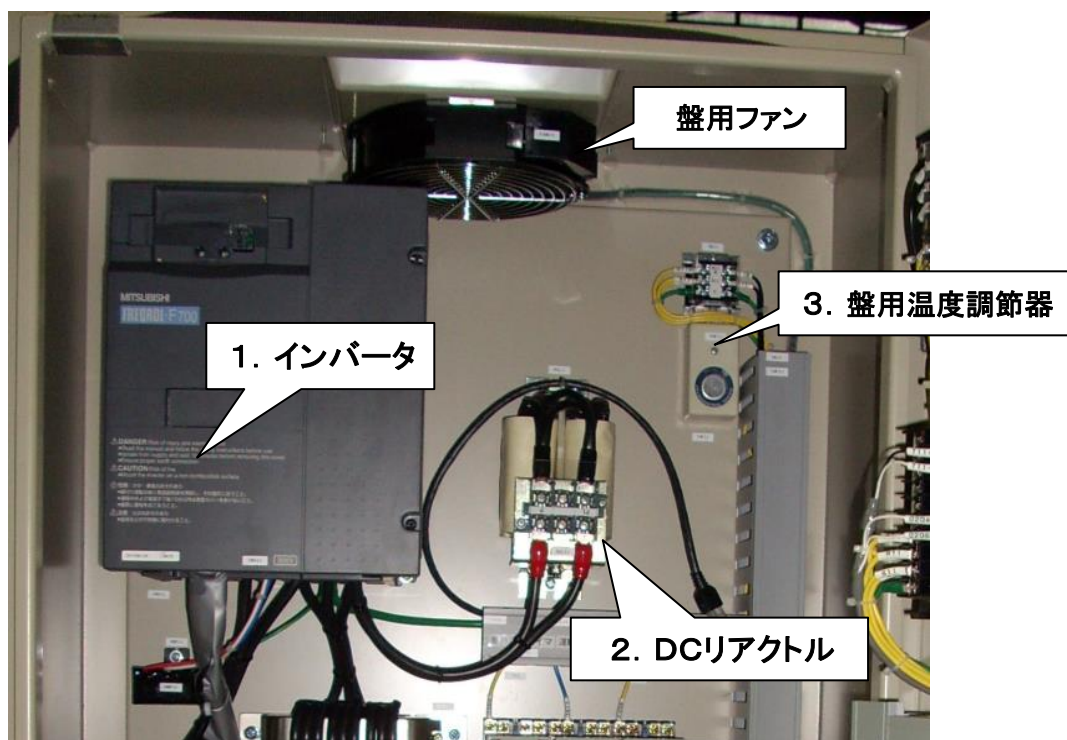
□代表者による全体の評価と見直しの結果

売上の増加、人員の増加に伴って、電気やガソリンの単純消費は増える傾向にある。

本年度以降の業務拡大を見据えて、減らせるところは減らす姿勢を改めて見直したいと思う。

□省力化アイテム紹介

ここでは弊社で実際によく活用している代表的な省力化アイテムを紹介いたします。

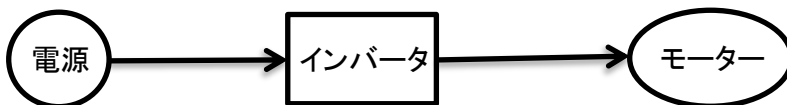


1. インバータ

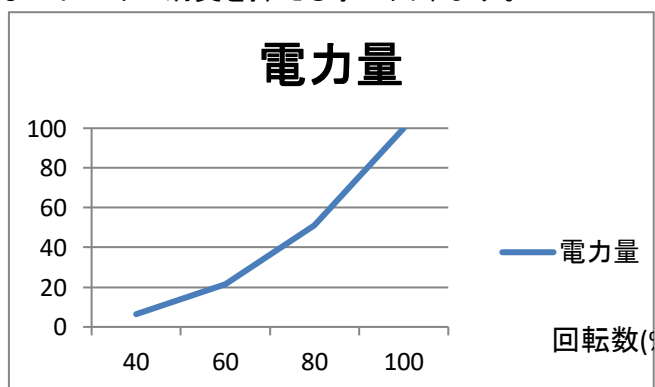
例えばモーターを回す時、一般的に下図のようにします。



これでは常にモーターは100%の回転数で回り続けます。
そこでインバータを間に取付けし、下図のようにします。



インバータは必要な時に必要な回転数で回す事が出来る為、
ムダなエネルギー消費を抑える事が出来ます。



回転数の削減率の3乗に比例して省エネ効果が得られます。(上グラフ参照)
つまり、回転数をインバータにより半分(50%)に減らすと**約88%**の省エネとなります。

□省力化アイテム紹介

2.DCリアクトル

高調波の発生による機器の破損等を防止します。
また力率改善の効果もあり、良くなった分電力量を抑えられます。

3.盤用温度調節器(パネルサーモ)

盤内の温度上昇を防ぐ為に盤用ファンが取り付けられています。
盤用温度調節器を設置する事により、温度が上昇した時のみ盤用ファンを回し、温度が下がると自動的に停止させる事が出来ます。

4.LED電球

2011年より設備機器へ取り付け照明として従来の白熱球からLED電球の使用へ切換えています。
エンドユーザー様に引き渡してからは1日あたり8～16時間は照明を点けた状態となる為、省エネに役立てると考えています。
写真のLED電球は消費電力2Wを使用していますので、従来の白熱球40Wと比べると1/20の省エネになっています。
明るさも思った以上に強く、当分はOSRAM製を使用していきます。

